

個別の教育支援計画

作成日 年 月 日
(新規 更新 (回))

プロフィール	
家族構成	
生育歴、相談歴、療育歴	
乳幼児期の様子や行動の特徴を記入する。 (妊娠周産期・身体・運動発達・言語発達・生活面・行動特性・認知・身体特徴・健康・幼稚園、保育園などへの就園年齢と適応状況など) これまでに医療機関や福祉機関等で受けてきた療育や相談があれば、機関名と年月、内容を記入する。	
諸検査の結果	
検査の名称、結果、検査機関、検査日等を記入する。	
合理的配慮など	
これまでの合理的配慮や学童保育や習い事など、参考となる事項があれば記入する。	
手帳 有 無 ()	

本人のよいところ・好きなこと・得意なこと

児童生徒	ふりがな		性別
	氏名		
保護者	氏名		
〇〇市立〇〇小学校	(担任)〇年〇〇〇〇		
年 組			

策定者
支援計画策定に関わった人、支援会議参加者を記入する。
例〇〇〇〇(学級担任)

家庭生活 支援内容 → 結果

夢や希望の実現に向かって家庭で行う具体的支援(誰がいつどんな支援をするのか)を記入する。具体的に支援期間や回数分かる場合は記入しておく。
結果はその都度、または1年ごとに記入する。(どんどん書き足す。変更が出た場合も追加して記入する。)

学校生活 支援機関、支援内容、支援期間 → 結果

夢や希望の実現に向かって学校生活で行う具体的支援(誰がいつどんな支援をするのか)を記入する。具体的に支援期間や回数分かる場合は記入しておく。
結果はその都度、または1年ごとに記入する。(どんどん書き足す。変更が出た場合も追加して記入する。)

「個別の教育支援計画」は関係者・機関が連携して支援するためのツール(道具)です。書くことが大切ではなく、保護者、関係者・機関が話し合い、活用することが大切です。

PLAN(計画)—DO(実行)—CHECK(評価)—ACTION(改善)

その他 支援機関、支援内容、支援期間 → 結果

他の枠に書ききれなかったことなど、本人に合わせて記入する。

結果はその都度、または1年ごとに担任や特別支援教育コーディネーターが保護者や関係者・機関と連絡を取り合い記入する。(どんどん書き足す。)

将来についての希望 (年後 歳)

【本人】 本人や保護者の将来の夢や希望を記入する。「こんなことがしたい」「こんなふうになりたい」という思いを尊重し、保護者とは「何年後〇歳の頃にこんな姿になってほしい」という前向きな話し合いをすることが大事。本人の思いが変わってくれば、話し合いを持ち、追加書き込みすることが望ましい。

【保護者】 本人の周りの関係者・機関の枠は必要な所を記入すればいいので、必要がない所は空白または削除する。枠の大きさや数は本人にあわせて作成する。イラストの変更も可。

支援の目標 情報を基に、本人に必要なこと、大事にしたほうがいいこと、配慮していきたいことを話し合い、的確な支援を実施するため長期的な見通しを持った目標を作成する。

合理的配慮

〇「合理的配慮」は、一人一人の障害の状態や教育的ニーズ等にに応じて決定され、設置者・学校と本人・保護者により、発達の段階を考慮しつつ、下記の「合理的配慮」の観点を踏まえて、可能な限り合意形成を図った上で決定し、その内容を個別の教育支援計画に明記する。
(中央教育審議会 H24.7 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(報告)より)

本人の夢

余暇・地域生活 支援機関、支援内容、支援期間 → 結果

地域で行う具体的支援を記入する。(合理的配慮の観点からも)誰がいつどんな支援をするのか。具体的に支援期間や回数分かる場合は記入しておく。余暇活動支援を家庭でも行う場合はこの欄に記入してもよい。
結果はその都度、または1年ごとに記入する。(どんどん書き足す。変更が出た場合も追加して記入する。)

医療、健康、相談 支援機関、支援内容、支援期間 → 結果

医療・福祉機関等で行う具体的支援を記入する。(合理的配慮の観点からも)誰がいつどんな支援をするのか。具体的に支援期間や回数分かる場合は記入しておく。結果はその都度、または1年ごとに記入する。(どんどん書き足す。変更が出た場合も追加して記入する。)

支援の目標、内容の評価と課題、引継 (次回支援会議は 年 月頃に行う)

目標や主な支援の方法や内容について評価し記入する。引き継ぎ事項も記入する。担任や特別支援教育コーディネーターが保護者や関係者・機関と連絡を取り合い記入する。

次回の支援会議の開催についておおよその予定を記入し、参加者で確認する。

この「個別の教育支援計画」の記載内容を了解し確認しました。

年 月 日

保護者氏名

保護者から記載内容の了解を得て、署名をもらう。

※「合理的配慮」の観点として、①教育内容・方法、②支援体制、③施設・設備が示されている。(中央教育審議会 H24.7 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(報告))